

第2回 全日本 学生フォーミュラ大会を迎えて

Welcome to 2nd Student Formula SAE Competition of Japan



平成十六年八月三十日
社団法人 自動車技術会 会長

荻野道義

昨年より始まった学生フォーミュラ大会を、昨年にも増して多くのチームの参加と今回初めて海外からのエントリーも加わり、本年も開催できることを嬉しく思います。

この大会はフォーミュラスタイルの小型レーシングカーを製作し競うわけですが、競技は早く走る走行性能だけでなく、一日に4台の生産を想定した車両の企画、設計、製作とコストなど、もの作りにおける総合力を競う厳しいものとなっております。

そのために参加する学生はチームを組み、約1年かけて大会ルールと車作りの総合プロセスを研究し、その上で走行性能を高めるといふ、大いなる創意工夫とチャレンジ精神を要求され、現実の自動車業界で行われていることを体験することになります。

さて、人類は他の動物に無い素晴らしい能力、「話すこと」「物を作ること」、を創造主から授かりました。この二つの能力を使うことは人間にとって本質的な喜びであります。物作りの喜びには三つの段階があって、第一段階は単に物を作る喜び、第二段階は作った物で競う喜び、第三段階は世の中のため人のために物を作り出す喜びで、これが最高の境地です。

学生の皆さんには社会に出て早い時点で、この最高の境地に到達する人になってもらいたいと思いますが、まず、第二段階の物を作って競う喜びを大いに味わって、感動してもらいたいと思います。

勝ちたい情熱、人より優れた発想と工夫、技術力の研鑽と地道な努力、勝つためには苦しい道のりですが、苦しみが大きいほど喜びが大きくなるものです。勝利に向かって最後の最後まで頑張り切ってください。

物事を成し遂げた達成感、自信は貴重なものです。この自信を将来皆さんの大きな夢、人々の夢を実現する原動力にしてください。期待しております。

自動車技術会は学生の皆さんにこの様な場を提供していることを誇りに思います。さらに、日本大会の優秀チームが世界で競える世界大会のような場が創設できれば、この大会の意義がますます大きく価値あるものになると夢見ております。

最後に参加チームの皆さん、ご後援の皆様、参加校の関係者の皆さん、本大会のスポンサー様、ボランティアの皆様、そして大会の関係者の皆様に感謝申し上げます。